

厚生・産業・企業常任委員会 県内行政調査

1 調査日 令和6年7月26日（金）

2 調査の概要

（1）パナソニックアソシエイツ滋賀株式会社（彦根市野瀬町）

パナソニックアソシエイツ滋賀株式会社は、重度障害者多数雇用を目的とし、働く意志と能力を持ちながら適職や職場環境に恵まれない人々に、安定した職場と雇用を確保、促進するために、共生社会づくりを推進する滋賀県と彦根市、パナソニック株式会社の3者による第三セクター方式によって平成6年8月に設立された。

同社は「社会の公器」とあるという考え方のもと「全員参加による経営」として、障害のある人もない人も共に協力し、仕事の能力、スキルに応じて仕事を分担しており「個人の自立・職場の自立・仕事の自立・経営の自立」の4つの自立を標榜し、その実現と会社の繁栄を目指している。

本委員会では、地域福祉の推進と共生社会づくりを重点審議事項の一つに掲げていることから、パナソニックアソシエイツ滋賀株式会社を訪問し、障害者雇用の促進に係る現場の状況を調査した上で、従業員の皆様との県民参画委員会を実施し、意見交換を行った。



（2）滋賀県立総合病院放射線治療棟（守山市守山）

滋賀県立総合病院は、地域がん診療連携拠点病院の取組に加えて、各がん診療連携拠点病院への情報提供、診療支援の実施やがん医療に携わる医療従事者向け研究の調整などを行い、本県のがん診療連携のコーディネーターの役割を担う、厚生労働大臣から指定を受けた都道府県がん診療連携拠点病院である。

近年のがん治療においては、副作用の少ない効果的な治療技術が開発されるなどにより放射線治療が非常に有力な治療法となっており、放射線治療を受けるがん患者が増加している。しかしながら、治療には高額な機器が必要な上、その管理には高度な技術を持つ専門的な人材が

必要である。

そうした中で、同病院に昨年度、最先端設備が導入された放射線治療棟が建設されたことから、今秋からの本格稼働に向けて、放射線治療資源をどのように活用していくかが重要となる。

本委員会では、質の高い医療等を提供するための県立病院のあり方を重点審議事項の一つに掲げていることから、滋賀県立総合病院放射線治療棟において、導入された最先端設備やその活用方法の調査を行った。

